

2025年11月28日

各位

会 社 名 株式会社地域新聞社 代表者名 代表取締役社長 細谷 佳津年 (東証グロース 証券コード:2164) 問合せ先 コーポレートコミュニケーション室 執行役員 五十嵐 正吾 (TEL.047-485-1107)

上場維持基準(時価総額基準)の適合に向けた計画に基づく 進捗状況(改善期間入り)について ~事業計画及び成長可能性に関する事項~

当社は、2021年12月20日にグロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2025年8月末時点における上場維持基準の適合状況について、以下のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の 2025 年 8 月末時点におけるグロース市場の上場維持基準の適合状況は、下表のとおり「時価総額」 については 19.7 億円と適合しておりません。「時価総額」については 2023 年 8 月末時点の 7.8 億円から、改善はしておりますが引き続き適合していない項目となります。当社は、「時価総額」に関し、当初計画のとおり、2026 年 8 月期までに 上場維持基準を充たすための各種取り組みを実施してまいります。

なお「時価総額」基準については、適合までの改善期間に入っており、当社においては潜在株式を有するため、2026 年 8 月 31 日基準日時点で東京証券取引所より当社株式は監理銘柄に指定され、その後東京証券取引所に判定される「時価総額」において適合していない場合には、整理銘柄に指定され、2027 年 3 月 1 日に上場廃止となります。当社はこのような事態を防ぐために、企業価値の再定義を通じた新たな成長戦略(Strategic Plan Series)を着実に実行し、現行の上場維持基準の適合はもちろん、2030 年より見直しが予定されている新上場維持基準(時価総額 100 億円以上)についても早期に達成が出来るよう、具体的かつ実効性のある施策を展開してまいります。

		株主数	流通株式数	時価総額	流通株式 時価総額	流通株式比率
当社の 適合状況 及び その推移	2021 年 6 月末時点			14.8 億円	_	_
	2022 年	_		8.7 億円	_	_
	8月末時点 2023年		11,503 単位	7.8 億円	4.1 億円	53.2%
	8月末時点	1,081 人				
	2024 年 8 月末時点	1,594 人	13,132 単位	12.0 億円	5.9 億円	49.1%
	2025 年 8 月末時点	2,805 人	20,103 単位	19.7 億円	10.6 億円	53.7%
上場維持基準		150 人	1,000 単位	40.0 億円	5.0 億円	25.0%
適合状況		適合	適合	不適合	適合	適合
当初の計画に記載した 計画期間		_	_	2026年8月末	_	_
改善期間		_	_	2026年8月末	_	_

※2021年6月末時点、2022年8月末時点、2023年8月末時点及び2024年8月末時点は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったものです。2025年8月末時点は、時価総額は東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行い、時価総額以外については当社が2025年8月末時点での株式等の分布状況をもとに試算を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価(2023年9月~2025年8月) 当社は 2023年 11月 22日公表の「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」において、上場維持基準の適合に向けた基本方針とその進捗を報告しております。しかしながら、その後当社は、2024年2月7日に代表取締役社長の異動を含む経営体制の改変を決議し、同時に企業戦略の抜本的見直しに着手いたしました。具体的には、フリーペーパー事業、及びその周辺事業にしぼった従来路線にとらわれることなく、企業価値の再定義を通じた新たな成長戦略(Strategic Plan Series I:2024年6月3日公表)を策定し、それにともない業績計画や基本方針、KPIも全面的に刷新いたしました。

新たな成長戦略をベースとした、今後のグロース市場上場維持基準の適合に向けた実施状況及び評価、ならびに今後の課題・取組内容については、本日公開の『上場維持基準の適合

に向けた計画に基づく進捗状況について(Strategic Plan Series X)』に記載のとおりです。

3. 今後の課題及び対応方針

今後は、他社とのアライアンス強化やアドバイザリーボードを通じた実行体制の整備、ならびに特許申請中の「生成 AI を活用した心理状態デジタルツインによる広告効果最大化技術」の実装による情報資産の高度活用を図ることで、企業価値のさらなる向上と基準適合の早期達成を目指します。

また、株式会社中広が展開するボランタリー・チェーン方式による加盟契約をはじめとする全国 1,300 万世帯の媒体ネットワークを活用してコア事業による安定収益を確保しつつ、成長の第二の柱として、新ビジネスモデルの構築にも注力しております。人材紹介領域では、奨学金返済支援型人材紹介スキームを展開し、早期の収益拡大を目指しております。さらに、地元優良企業との連携を通じて企業グループを形成する「地域共創プラットフォーム」構想も推進中です。これは、株式交付・株式交換等により非上場企業をグループ化 (M&A) し、オーナー企業の自立性を尊重しながら、当社の信頼性や資源を活用してともに成長を目指す仕組みであり、後継者問題の解決や地域経済の活性化にも資するものと考えております。なお、これらの戦略を実行していく上での基盤となる財務面の安定確保も、重要な経営課題として認識しております。当社では引き続き、業績改善による自立的な収益力の強化を図るとともに、資本政策及び外部からの資金調達においても株主価値を損なわない形で実行し、適正な財務バランスの維持を通じて、持続的な成長と企業価値向上を両立してまいります。

なお、事業計画及び成長可能性に関する事項のアップデートについては、今後、決算後 11 月頃を目途として開示を行う予定です。

以上



事業計画及び成長可能性に関する事項

上場維持基準の適合に向けた 計画に基づく進捗状況について

2025.11.28 (Fri) 株式会社地域新聞社

Strategic Plan

~mid-term~ Series

NT E NT



- 02 株価の推移
- 03 新戦略と目指すビジネスモデル
- 04 新型ビジネスモデル構想
- 05 基本方針・業績計画 ~ EBITDA・EVA (超過利潤) ~
- 06 サステナビリティを支える人的資本経営
- 07 企業価値(時価総額)向上に向けた取り組み
- 08 市場環境
- 09 リスク情報

※参考 Strategic Plan ~ mid-term ~ Series9



会	社	名
創		業
所	在	地
資	本	金
経	営	陣

株式会社地域新聞社

1984年8月

千葉県八千代市

5 億 1,218 万 6,970 円

細谷 佳津年 代表取締役

金箱 義明 取締役

松川 真士 取締役

齋藤 律子 取締役

田中 康郎 社外取締役

色部 文雄 社外監査役 (常勤)

小泉 大輔 社外監査役(非常勤)

丸野 登紀子 社外監査役(非常勤)

従業員数 265 名

約 2,500 名

約140名

1,216 名→3,018 名

(2024/2/29)

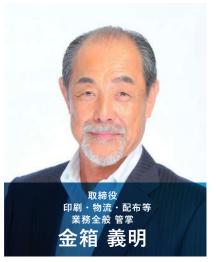
(2025/8/31)





※ポスメイトとはフリーペーパー 『ちいき新聞』の配布を業務委託している配布員の呼称 ※データ数字は 2025 年 10 月 1 日現在























「人の役に立つ」



地域の人と人をつなぎ、 あたたかい地域社会を創る

私たちは、日々の暮らしの中に、出会い・発見・感動を提供し、 それらが分かち合われ生まれる絆によって人が人を、人が地域を慈しむ社会を創ります。

ちいき新聞とは

関東圏で毎週約 174 万部のフリーペーパー を発行地域の生活者に密着した情報を発 信しターゲットエリアのカバー率は約 90% と高い配布率が特徴

折込チラシは地理統計情報と掛け合わせ 約 500 世帯ごとからの細かいセグメント配 布が可能



フリーペーパー事業のビジネスモデル

フリーペーパー「ちいき新聞」への広告掲載やチラシ折込を通して、広く 地域住民への販促告知を行い、広告の製作や印刷、配布などの料金を収 受するビジネスモデル







174 万世帯

プロモーション

情報の デリバリー









創業 41 年、上場企業ならではの信用・信頼

1984

・地域新聞社創業

2007

・大証ヘラクレス (現東証グロース)に上場



2016

- ・ふるさとづくり大賞受賞
- ・笑顔いっぱい! フレンドリーオフィス認定書授与

2018

- ・船橋市商工会議所 子育て支援優良事業所認定
- ・新代表取締役社長に 山田旬が就任

2020

・地域新聞社とラクスル、 折込販促のワンストップ サービスを目的とした 業務提携を締結

2024

- ・新代表取締役社長に 細谷佳津年が就任
- · Strategic Plan
- ・アドバイザリーボード
- ・ツナググループとの 業務提携
- · VC 加盟契約締結

2024

2025~

- ・株主優待券発行
- ・ブレイブ保険との 業務提携
- ・地域共創プラットフォーム始動
- ペルソナデータベース始動
- ・広告費創出型 クラウドファンディング始動
- ・奨学金バンクとの業務提携

2

1984 (2000

00 2

2020

2020

・新型コロナウイルス蔓延

2021

・東京オリンピック



2000

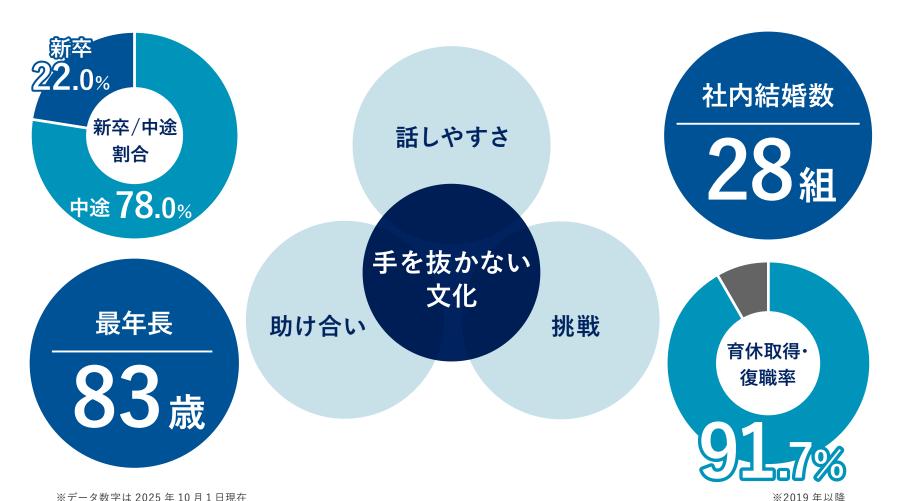
・デジタル広告の台頭

2011

・3.11 東日本大震災



風通しが良く働きやすい企業風土





フリーペーパー事業のビジネスモデル

Q 地域新聞社 note

検索

https://note.com/chiikishinbun

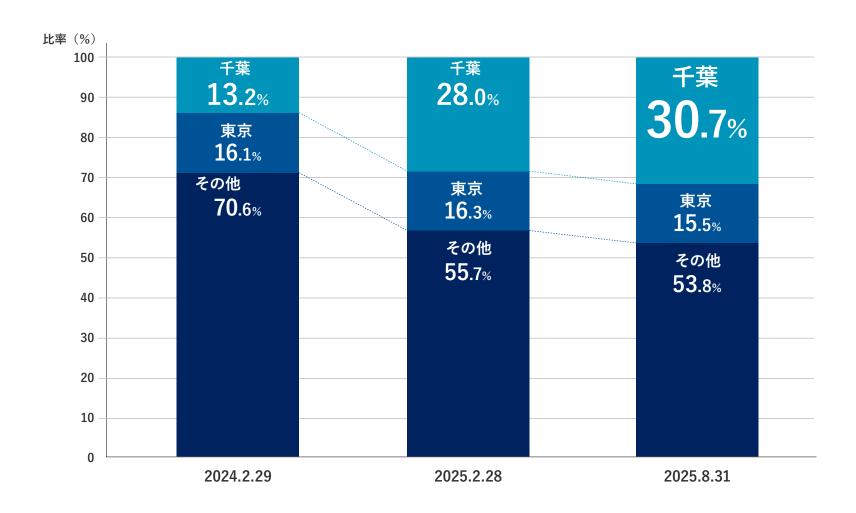


平均年齢 65.9 歳!毎週約 174 万部の『ちいき新聞』を梱包するセントラル配送センタースタッフインタビュー【第2段】





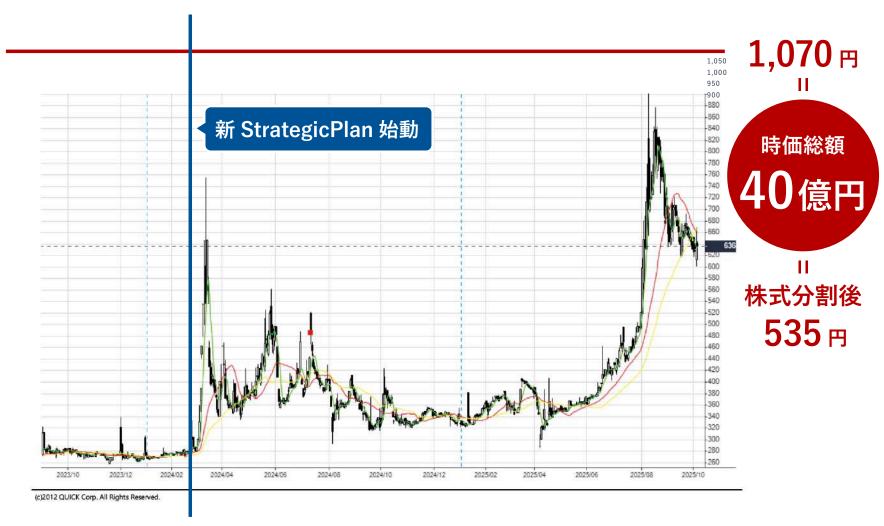
株主数の推移(過去1年間)





株価

※2025 年 10 月 31 日 (金) 時点の株式分割前のグラフとなります





StrategicPlan 始動後の時価総額と株価

(2024年2月7日~2025年10月8日現在)

最大時価総額

34.6 億円

※2025年8月8日

最小時価総額

8.0 億円

株価最高値

1,030 円

※2024年3月12日 (ライツ・オファリング実施前)

株価最安値

287円

※2025年4月7日

募集新株予約権を発行

(有償ストック・オプション)

従業員からの声を受け、より一層 意欲及び士気を向上させ、当社 の結束力をさらに高めるこ とを目的として発行



ストックオプション ※2025年10月31日(金) 時点の株式分割前のグラフとなります

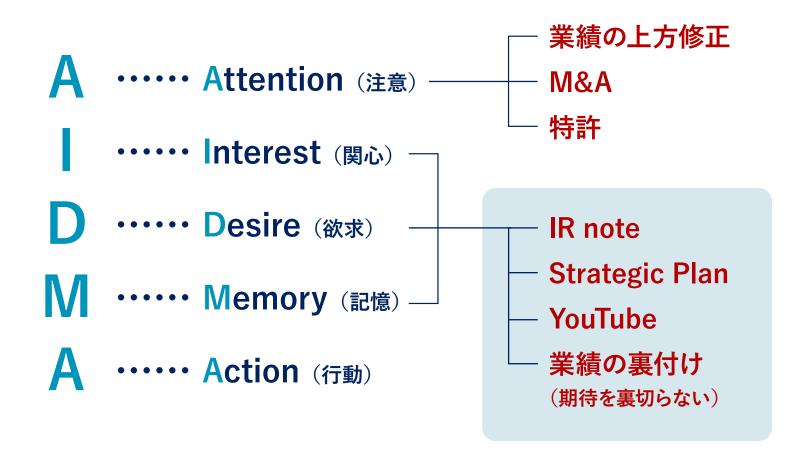
QUICK Corp. 2025/10/07 08:26:54



(c)2012 QUICK Corp. All Rights Reserved.



AIDMA





Interest · Desire · Memory での取り組み

IR note

時価総額 ビリからの 下克上



【アドバイザリーボード紹介】Board3.0体現に向け、プライベートエクイティファンド創業者・小池藍さんが参画

方針

Strategic Plan



YouTube

■【公式】 株式会社地域新聞社



■【公式】ちいき新聞 TV



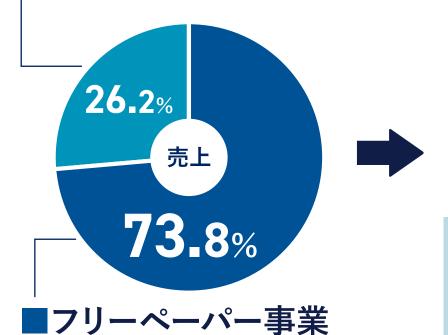




企業価値の再定義

■その他の事業

- ・WEB 事業(チイコミ、LINE など)
- ・別冊
- ・求人専門紙「Happiness」発行
- ・行政
- ・人材事業(紹介、イベントなど)
- ・カルチャー など
- お手伝いシリーズ (マッチング)



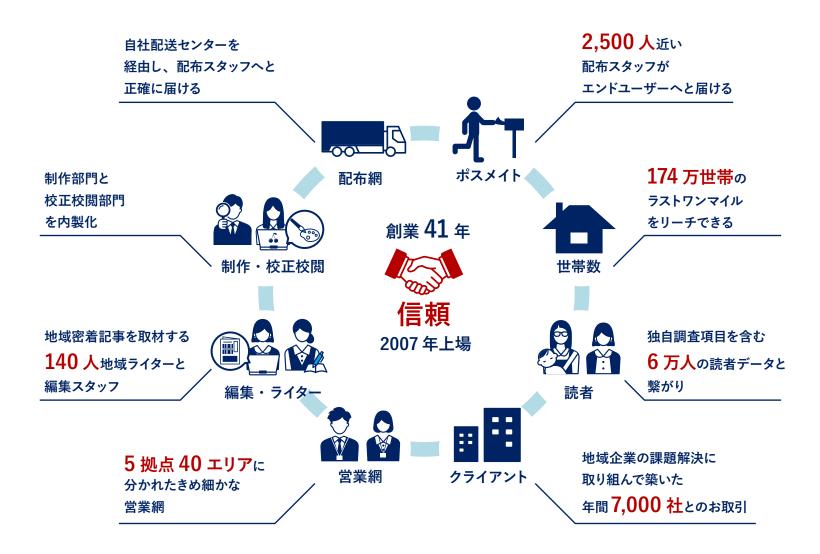
「フリーペーパーを 発行する会社」 というイメージ アセットに光をあて 企業価値を再定義する

フリーペーパー事業で培った 多くのアセットを活用

・「ちいき新聞」発行 ・折込チラシ



数値化されていない強力な当社アセット(無形企業資産)





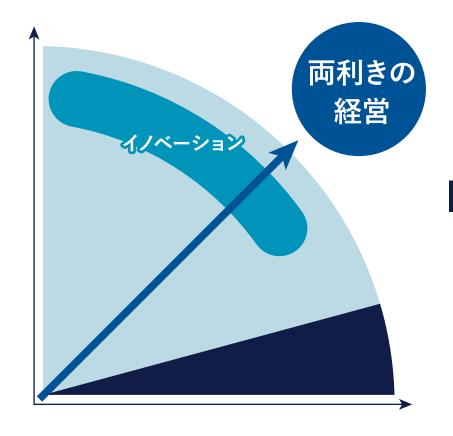
水先案内人としての「知の探索」を追求(アライアンス先の発掘)

シーパワー

知の探索

分野とイノベーションの 可能性を探る

当社にはない事業やサービスを提供している会社と手を携え、リソースはそのままに当社アセットの提供を通じて新サービスを創出、スピード感を持って数・単価を高める



ランドパワー

知の深化

既存ビジネスの 強化拡大

既存事業や既存サービス の枠内もしくは周辺でリソースを投入しつつ、数・単価をアップする



アセットの部分提供を通じてのアライアンス戦術 ~ブルーオーシャンマーケットの創造~



信頼

創業 41 年

1984年8月28日に八千代市にて創業。 その後、県内を中心にエリアを広げて 千葉県 No.1 の発行部数を誇るフリー ペーパー会社に。

2007年上場

2007 年 10 月 31 日に大証ヘラクレスに 上場し、2024 年現在は東証グロース市 場に上場しています。





2024年8月~ ツナググループとのアライアンス実績









ユメックスネット

月間求人数

6,482 求人

求職者数(応募数)

10,306人





ハピネス(紙媒体)

月間求人数

350 求人

求職者数(応募数)

250人

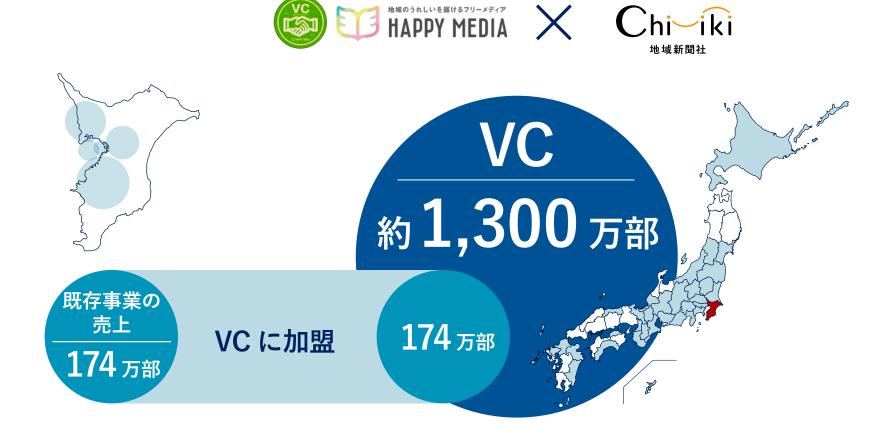
累計受注額

42,379 千円 ツナグメンバーが販売したハピネスの売上 + 全員が販売したユメックスネットの粗利



2024 年 9月~ VC 加盟後の配布エリア外での累計受注額

私とあなたの真ん中に



累計受注額

82,710 千円



地域新聞社

2025年3月~ ブレイブ保険関連累計受注額







資金を集めて PR したい



本業でシナジーのある

資本業務提携先



44,000 千円 累計受注額



本格的な人材紹介ビジネスへの参入

株式会社アクティブアンドカンパニーとの業務提携



奨学金の変化・変遷及び、高等教育機関を取り巻く環境変化に伴って発生している「奨学金の不具合」を解消し、奨学金が「就学支援及び育英を恒常的に実現できるエコシステム」 を構築する事を目的としている





■奨学金バンク

「奨学金バンク」を生かした 奨学金返済支援型人材紹介ビジネス





特許出願中

ペルソナ AI の計算資源

奨学金返済支援型人材紹介ビジネスとは、奨学金返済義務のある求職者を対象とした人材紹介サービスです。就職先が決まった際に企業から当社へ支払われる紹介料の一部を、「奨学金バンク」を通じて日本学生支援機構へ拠出。入社後3年間にわたり、毎月1万円を返済支援として充当します。これにより求職者の経済的負担を軽減すると同時に、企業は採用競争において有利な立場を確立できます。企業の負担は採用時の紹介料のみであり、これまでにないスキームとして広範な導入が期待されます。また、対象は新卒学生だけでなく、転職を希望する社会人も含まれます。

04

新型ビジネスモデル構想

- ①人材紹介ビジネス
- ②ペルソナデータベース創出型モデル×AI
 - ※特許出願中
- ③地域共創プラットフォーム
- ④ クラウドファンディング × 記事

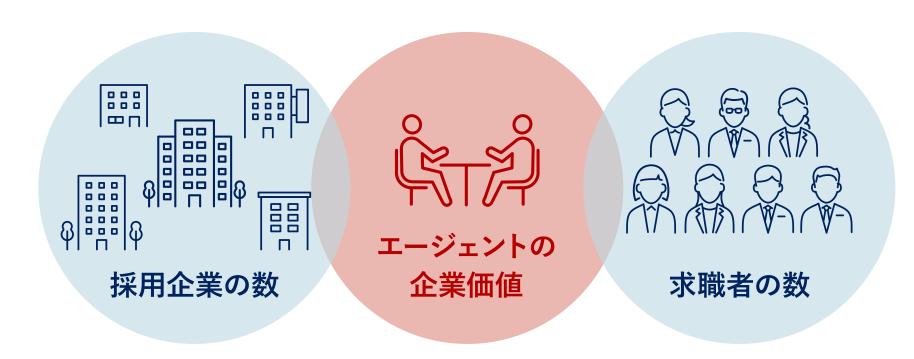
Strategic Plan X

04 新型ビジネスモデル構想 ①人材紹介ビジネス ② ペルソナデータベース 創出型モデル×AI ※特許出願中 ③ 地域共創プラットフォーム ④ クラウドファンディング × 記事 Strategic Plan X



エージェントの企業価値

採用企業と登録求職者の数がそのエージェントのパワーである





付加価値型新モデルの圧倒的な強み

・差別化(V)・希少性(R)・模倣困難性(I)・組織(O)









本格的な人材紹介ビジネスへの参入

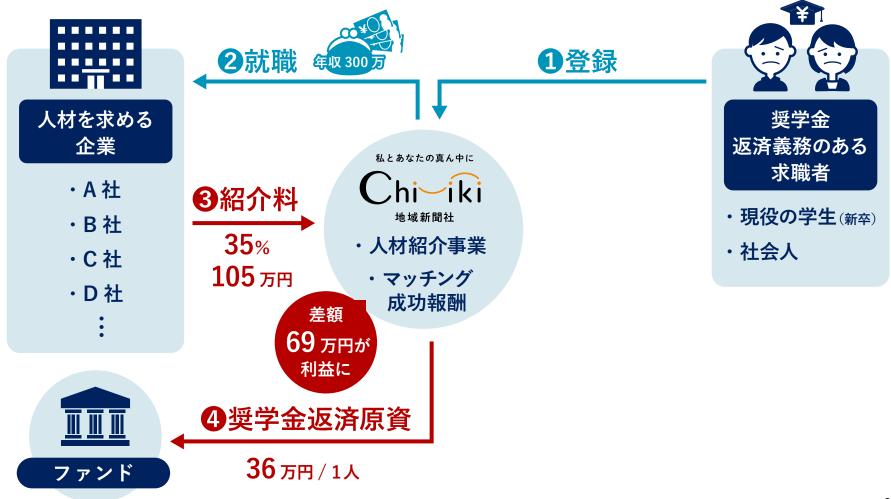
株式会社アクティブアンドカンパニーとの業務提携



奨学金の変化・変遷及び、高等教育機関を取り巻く環境変化に伴って発生している「奨学金の不具合」を解消し、奨学金が「就学支援及び育英を恒常的に実現できるエコシステム」 を構築する事を目的としている

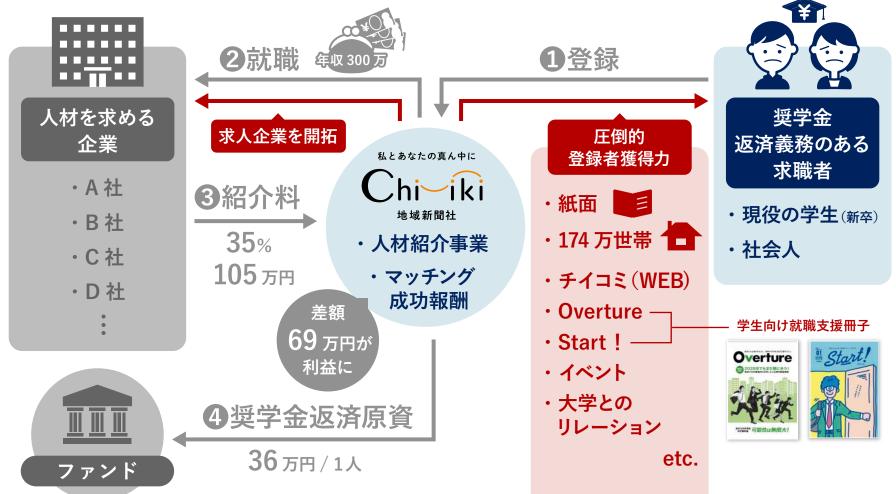


奨学金返済支援型人材紹介サービス





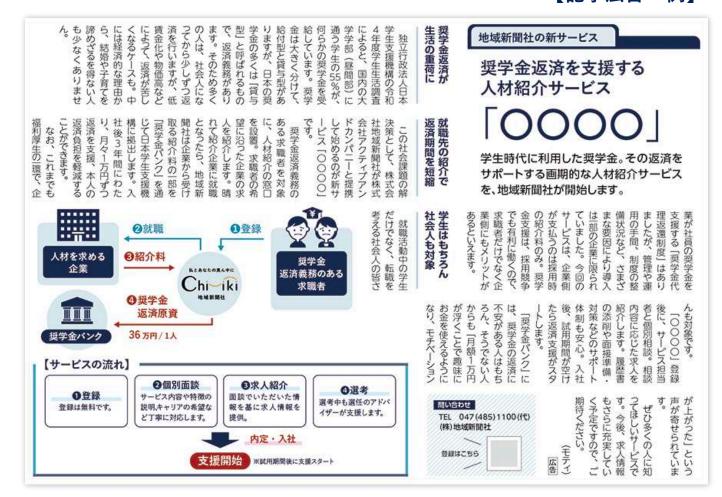
求職者向け訴求に圧倒的な強みを発揮





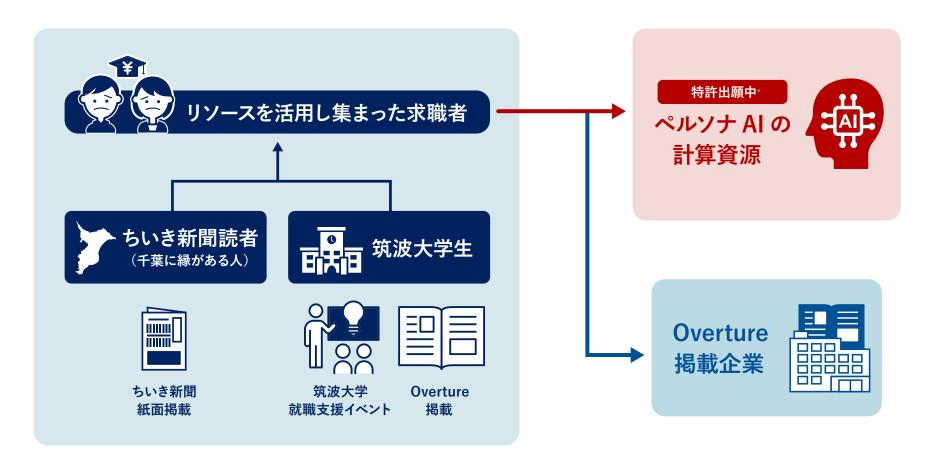
ちいき新聞本紙にて掲載予定

【記事広告一例】





人材紹介だけで終わらない ビジネスモデルの展望



04 新型ビジネスモデル構想 ①人材紹介ビジネス ② ペルソナ データベース 創出型 モ デル×AI ※特許出願中 ③ 地域共創プラットフォーム ④ クラウドファンディング × 記事 Strategic Plan X



無限に可能なペルソナデータベースの創造 =Al によるマネージ

人にフォーカスした記事 (無料 or 少額) を企画する事で、 載りたい人を集める事ができる

例:赤ちゃん号



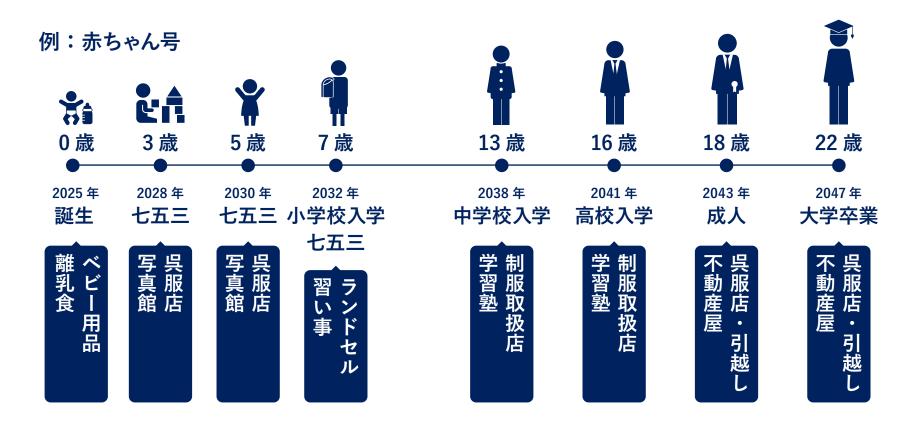


様々な切り口で 人にフォーカスした記事



ライフステージに合わせた提案

ストック型データベースの創出

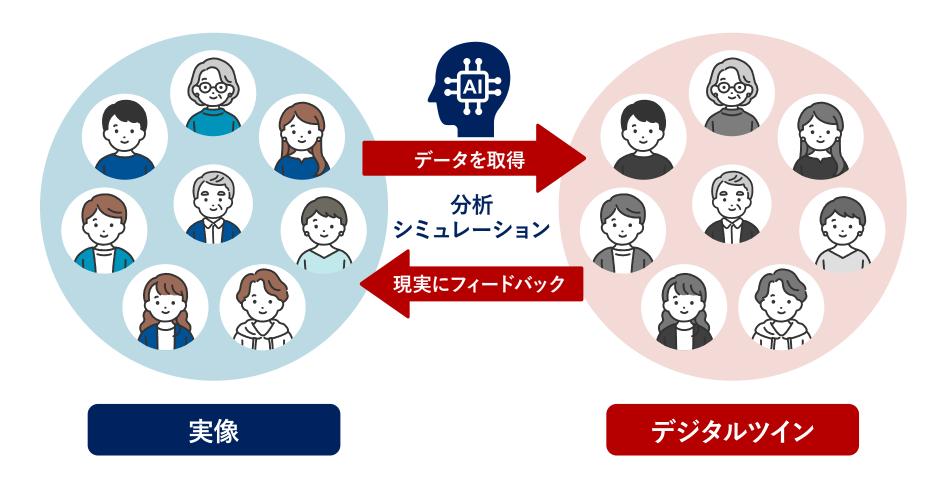


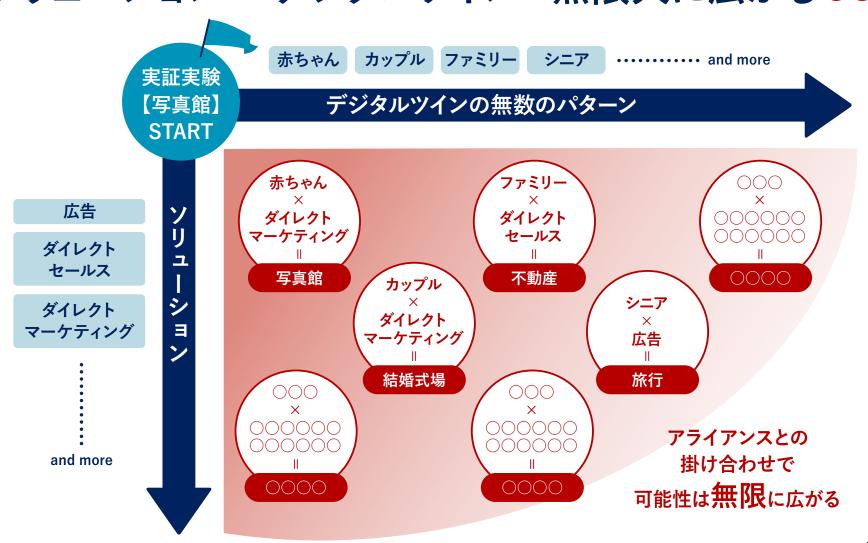
特願2025-114822

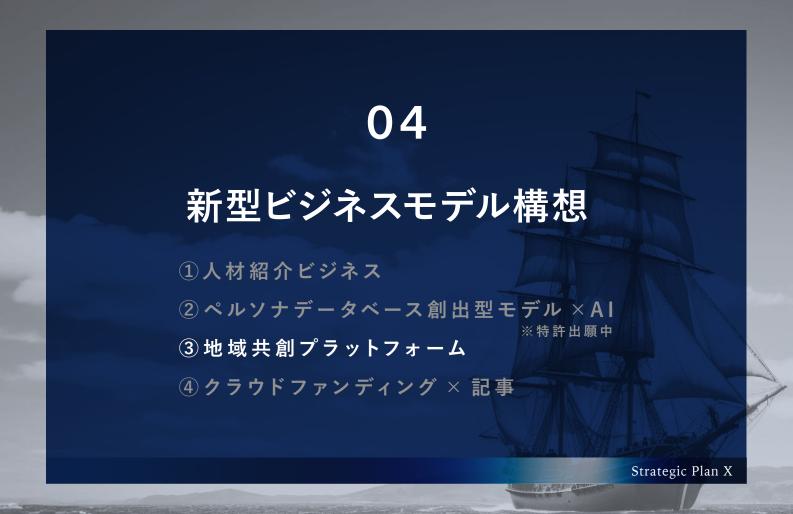
「生成 AI を活用した 心理状態デジタルツインによる 広告効果最大化技術」 に関する特許を出願



心理状態とデジタルツインとは

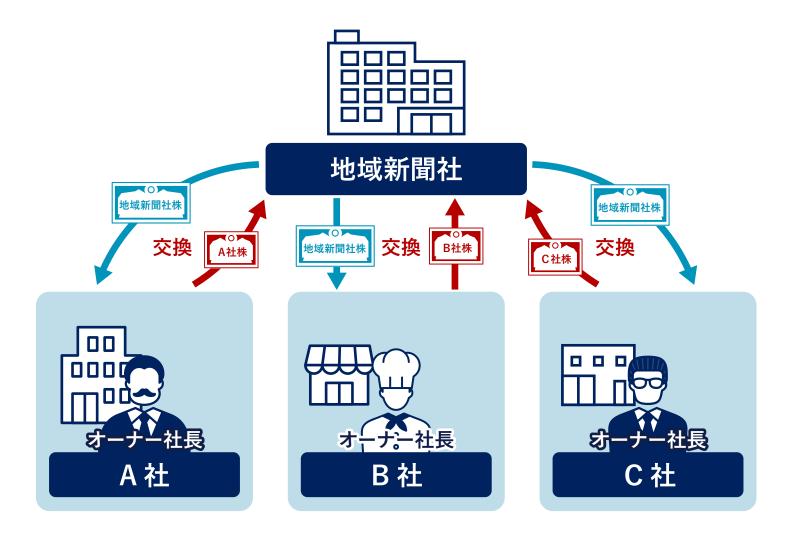








地域老舗優良企業のオーナーが保有している自社株を地域新聞社に譲る 株を譲ったオーナー社長には対価としてお金では無く地域新聞社の株を交付する

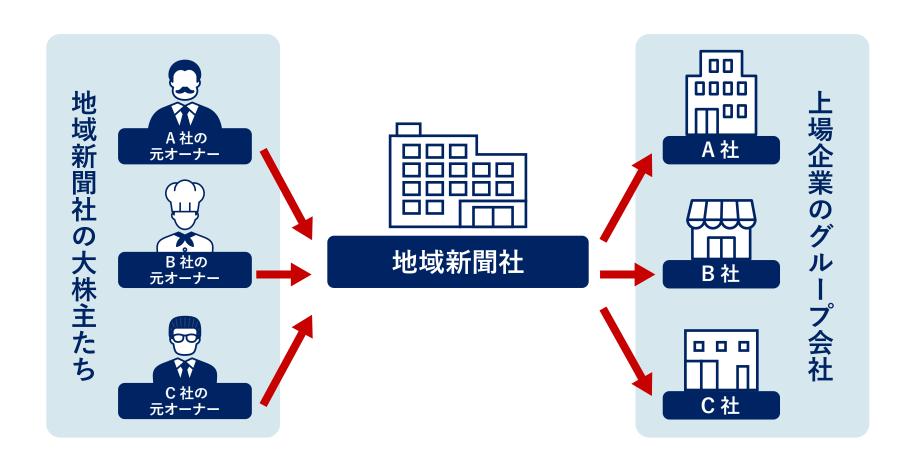




地域の人が株主となって 支えている会社

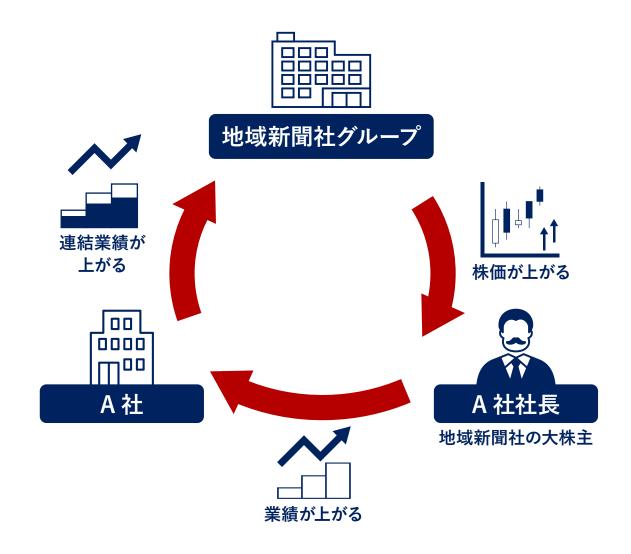


法的には子会社であるが 上下関係のない DAO 型組織※





完璧な正のスパイラル







シーホース コース プレミアム

Seahorse Course Premium

上場会社 地域新聞社グループ スピンオフ IPO 非上場会社が 上場会社である 企業価値が向上した後に 地域新聞社と A 社は再度独立する グループ会社となる 事も可能 地域新聞社 スピンオフ 上場子会社に A 社 A 社 A 社 独立系非上場会社 上場子会社 上場会社



M&A 〜強烈な Attention〜 を目指して! 地域共創プラットフォーム推進室

地域共創プラットフォーム構想を進める部署として新設



地域共創プラットフォーム 推進室 室長 地場 博文



そうは言っても心配ごとは色々

取締役会を 支配されて しまうかも・・・ 今はいいけど 心変わりされて しまったら

会社を自由に されてしまうのでは ないか・・・



A 社 オーナー社長

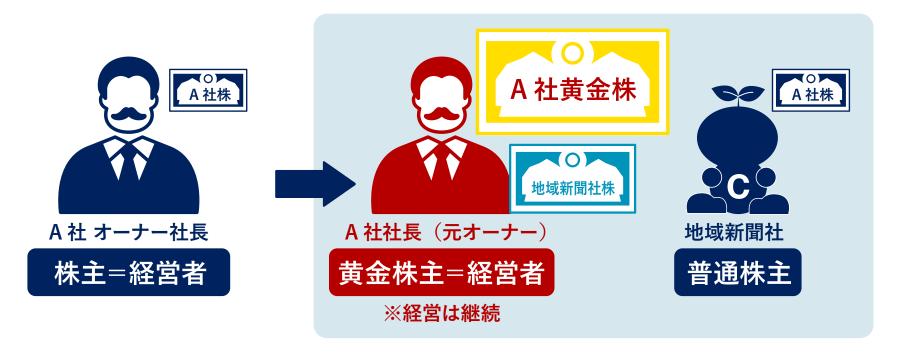
事業を切り売り されてしまうのでは ないか・・・



Option

元オーナーは黄金株を活用できる

地元上場企業(自社の親会社)の株主としてプレゼンスを確立しつつ、 元オーナー社長として黄金株を保有。自身の経営理念や方針を貫けるよう、 重要な経営判断に対して拒否権を行使できる仕組みとして黄金株を活用する。



参考

【日本経済新聞】INPEX の上田隆之社長「黄金株、国に不可欠な会社と認知広める」(2025.7.24 公開) 【日本経済新聞】種類株 企業の資金調達を多様に(2025.2.17 公開)



「中小企業ビジネス&イノベーションアワード」 受賞



この構想が評価され、文化放送主催「中小企業ビジネス & イノベーションアワード 2025」にて ネクストヒーロー賞(次の時代に大きく飛躍しそうな会社に贈られる賞)を受賞







『#J-WEST CFO Summit 2025』にて基調講演

J-WEST CFO コミュニティ主催の CFO イベント 『#J-WEST CFO Summit 2025』(12月20日 広島にて開催)において、地域共創プラットフォームについて基調講演予定

テーマ:地域が主役になれる時代へ!!

~CFO 人材の育成を通じた地域経済の発展を~





テーマ:地域が主役になれる時代へ!! ~CFO人材の育成を通じた地域経済の発展を~

日時: 2025年12月20日(土) 11:30~18:45(開場11:00~)

参加費:無料

参加者:会場参加(Hiromalab)

住所: 広島県広島市中区銀山町3-10ろしまハイビル2117階

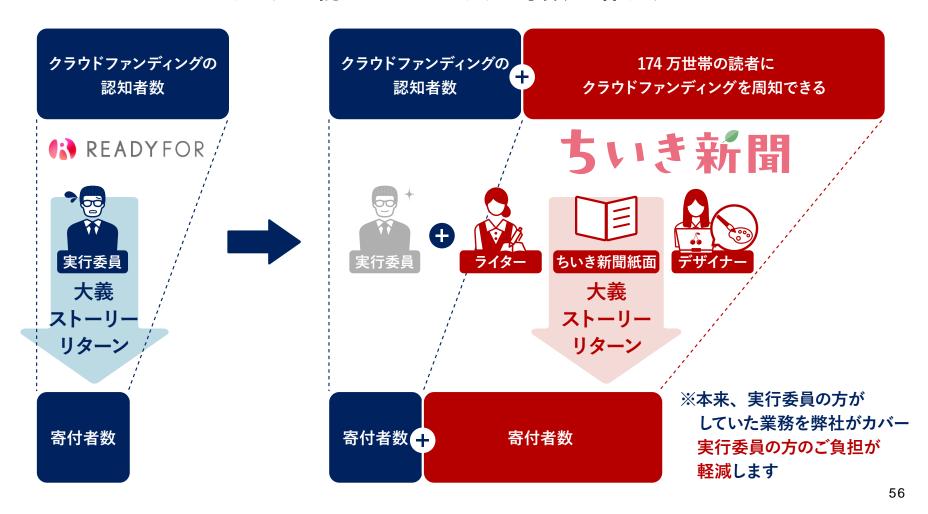


04 新型ビジネスモデル構想 ①人材紹介ビジネス ② ペルソナデータベース 創出型モデル×AI ※特許出願中 ③ 地域共創プラットフォーム ④ クラウドファンディング × 記事 Strategic Plan X



認知者を増やして寄付者を増やす

クラウドファンディングを認知している人の母数を増やす



某スポーツチーム クラウドファンディングプロジェクト

クラウドファンディングサイト READY FOR にて実施された例





※ こちらの事例は一例としての掲示となっており、当社は関与しておりません



KSF(キーサクセスファクター)

KSF 1

売上高:最重要経営指標 What

当社が提供する新サービスを含む各種商材が、社会においてどれだけのニーズを有し、受け入れられているかを客観的に示す指標として、売上高を最重要経営指標と位置付ける。

KSF 2

新ビジネスによる第二のコア事業の創出

以下の取り組み推進による非連続的な収益機会の獲得を目指す。

How

①戦略的アライアンス

- **山戦哈的アフイアン人**
- ②地域共創プラットフォーム型 M&A
- ③ペルソナデータベースを活用した AI 関連特許技術の実装

05



PPM 分析



ちいき新聞







KSF2

41 期中に CashAow に育てる



Dog

₩ 地域共創プラットフォーム









ProblemChild

KSF2

新規事業を 生み出す



KSF 1

2025年8月期通期業績計画の上方修正、及び2025年8月期通期業績予想の開示に関するお知らせ

(2025年4月15日公表)

	公表済計画	今回修正計画	増減額(計画)	増減率(計画)
売上高	3,201	3,233	31	1.0%
EBITDA	69	84	15	22.3%
営業利益	73	58	-14	-19.7%
経常利益	32	50	18	59 .5%
当期純利益	22	30	8	40.3%

※当社の定義する EBITDA= 純利益+減価償却費+ソフトウェア償却費+のれん償却費+支払利息+法人税等合計





2026 年計画 ~ EBITDA グロース~

※単位:百万円

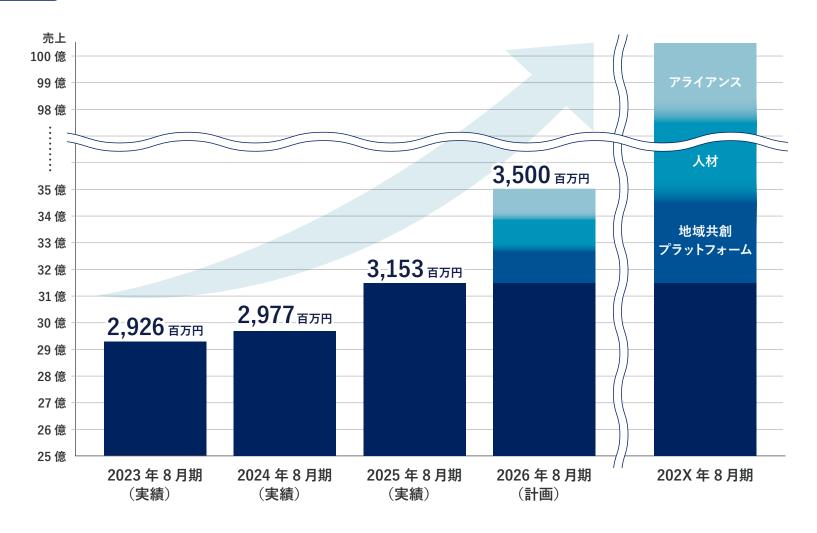
	2023 年 8月期実績	2024 年	2024 年 8 月期(前期)		2025 年 8 月期 (当期)		2026 年 8 月期 (来期)			
	(前々期)	実績	前 額	连差異 %	実績	前 額	i年差異 %	計画	前 額	年差異 %
売上高	2,926	2,977	50	101.7%	3,153	176	105.9%	3,500	346	111.0%
EBITDA	-7	32	39	-	86	54	269.1%	-	-	-
営業利益	-20	34	55	-	45	11	133.2%	-	-	-
経常利益	-47	16	64	-	52	35	310.7%	_	-	-
当期純利益	-51	3	54	-	41	37	1189.1%	-	-	-

※EBITDA=当期純利益+減価償却費+ソフトウェア減価償却費+のれん償却費+支払利息+法人税等合計

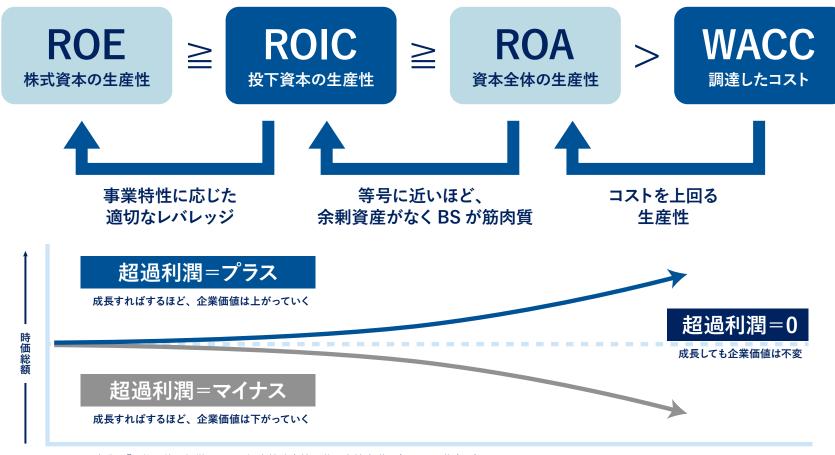


KSF 1

売上



超過利潤と時価総額の相関

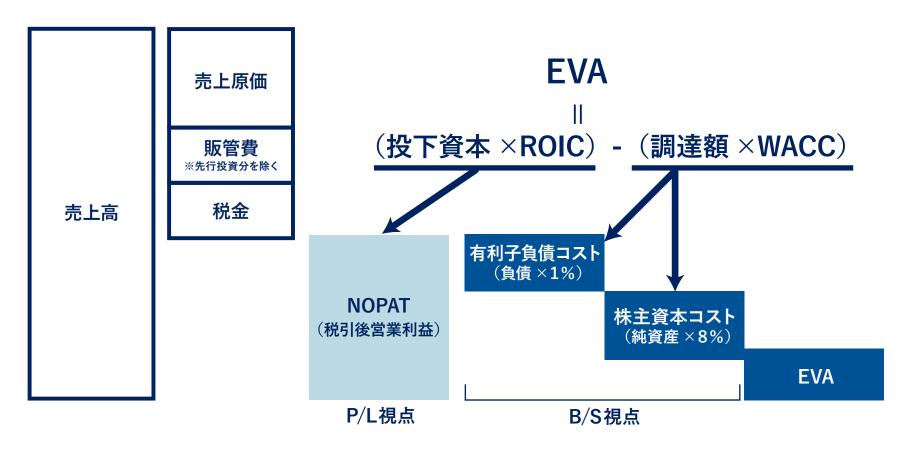


※出典:『三位一体の経営』みさき投資株式会社 著:中神康議 (みさきの黄金比)



当社版 EVA (超過利潤) の考え方

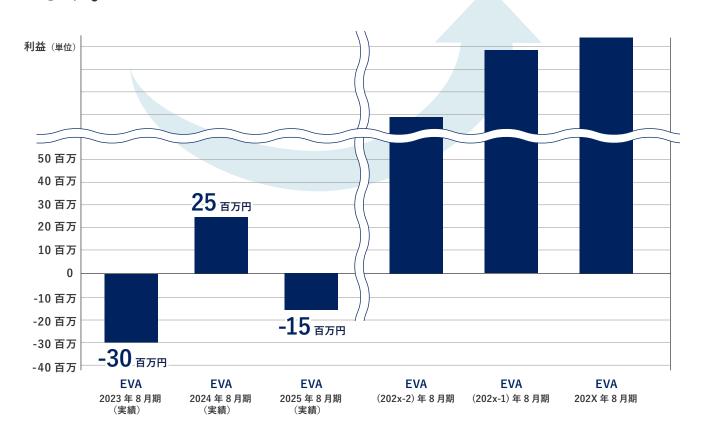
下記の考え方で当社版 EVA を算出し、投資家の期待を上回る 超過利潤(経済的価値)を生み出していきます。





EVA

ライツ・オファリングによる純資産の増加によって株主資本コストが上昇しました。 結果、EVA は一時的に減少しましたが、ROIC の高いアライアンスで上昇トレンド に変化させます。



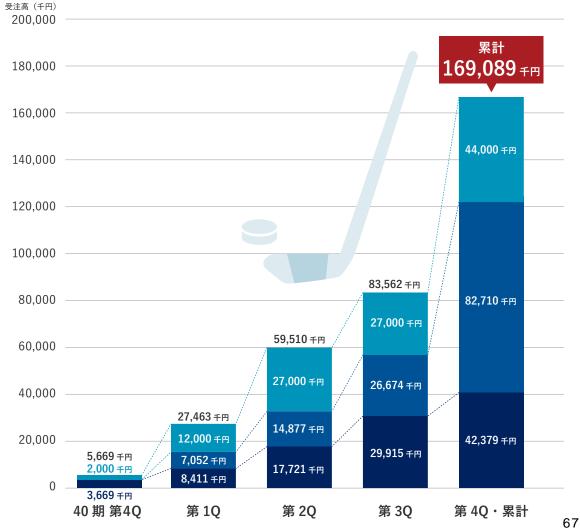


業績グラフ

受注高 (千円)

前回公表 (第3四半期)	今回公表 (第 4 四半期)	累計 (~2025 年 8 月期)				
■ブレイブ社業務提携(2025 年 3 月~)						
-	17,000	44,000				
■VC 加盟ほか全国媒体ネットワーク連携 (2024年9月~)						
11,797	55,983	82,710				
■ツナグ社業務提携連携(2024 年 8 月~)						
12,194	12,464	42,379				
累計受注額						
23,991	85,447	169,089				

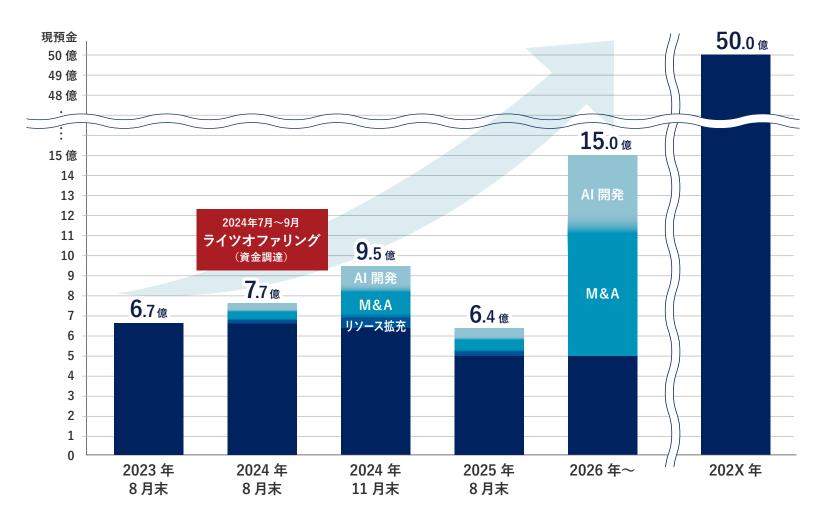
- ブレイブ社業務提携関連
- VC 加盟ほか全国媒体ネットワーク連携
- ツナググループ
- 前期累計

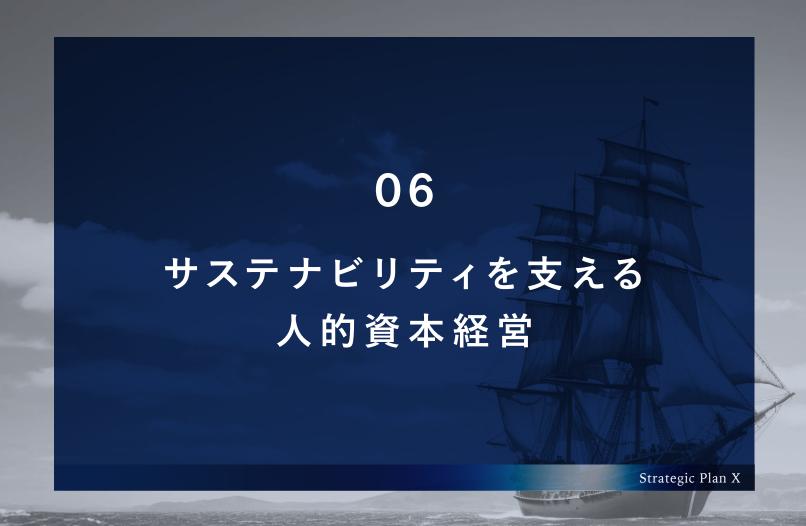




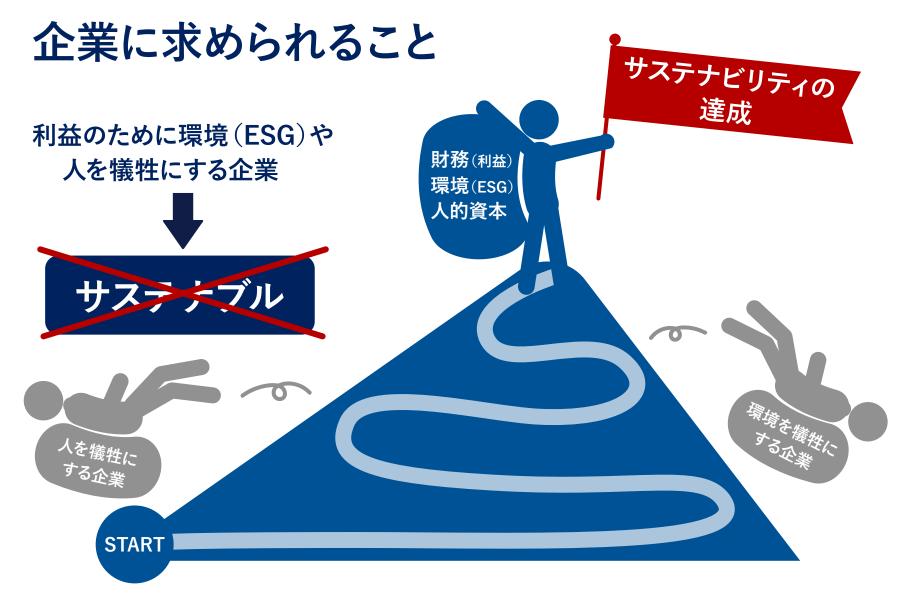
KSF

資金計画 【現預金】 戦略実現のための資金需要



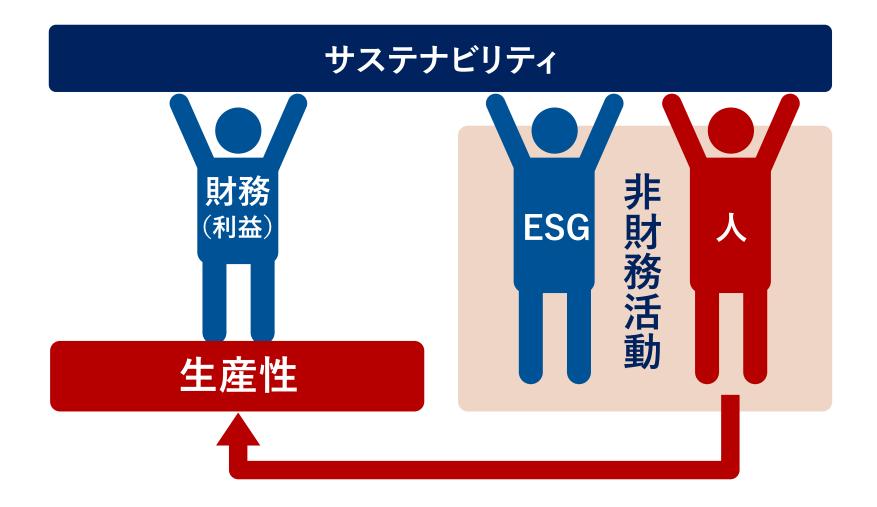








人的資本経営の方針(非財務活動)





人的資本経営の方針(非財務活動)

「人を犠牲にしない経営」

- Q. 何のためにここで働いているのですか?
- A. 地域新聞社で働いている自分のことが私は大好きなんです

当社の持続的な成長や事業価値の向上において、人材は最も重要な経営資源であると考えております。当社が考える人的資本経営とは、「人を犠牲にしない」経営です。「もしお金と時間に余裕があれば、本当は他のことがしたい」と思うのであれば、それは自分の人生を犠牲にしていることになります。従業員が当社で働く意義を見出すことを理想とし、評価されるために働くのではなく、一人一人が自らの幸せのために働ける、やりがいのある環境づくりに努め、エンゲージメント向上をイノベーション創出の原動力としてまいります。



「生産性」と「人の心」の関係性

人の心

従業員満足度

従業員幸福度

エンゲージメント



?



生産性 イノベーション



エンゲージメント向上に欠かせない風土

心理的安全性

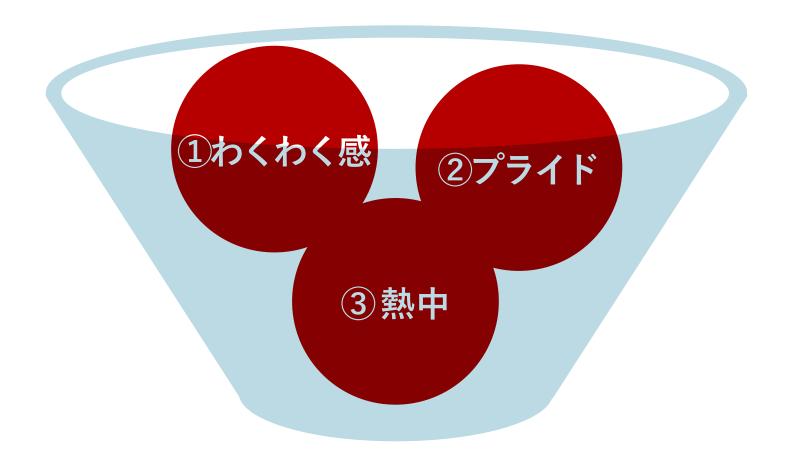
※「十分条件」ではないが「必要条件」





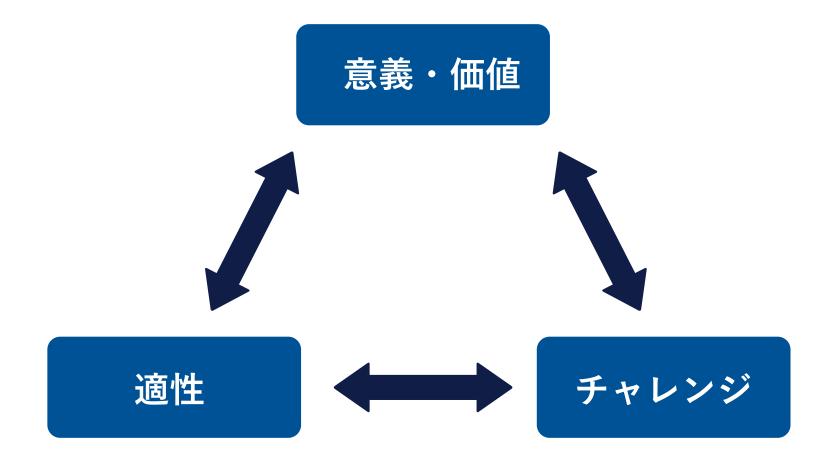


エンゲージメントの心理風景



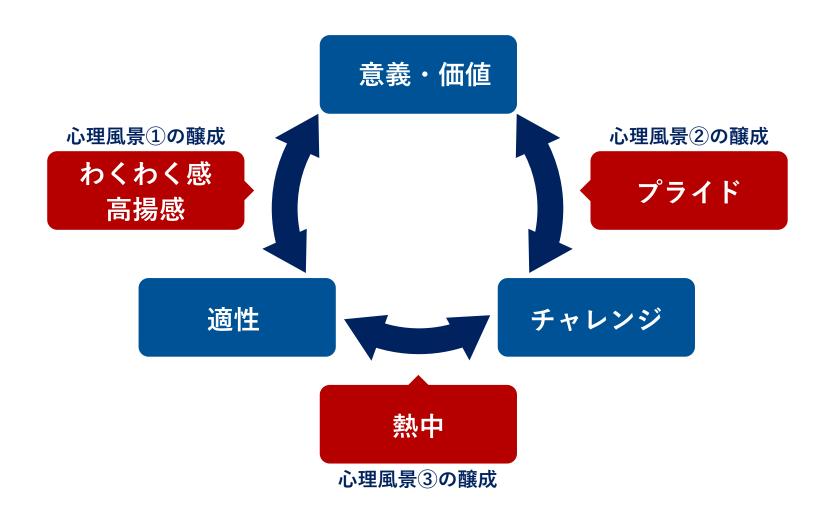


人的資本経営のアクションプランターゲット(APT)





エンゲージメントと人的資本経営(APT)の関係図





エンゲージメントサーベイ

eNPSと勤続意向を結果指標とし、その要因を8つの項目に分けて調査

	説明因子		わくわく感	熱中	プライド	衛生因子
/	①経営	・理念、ビジョンに対する共感度・経営への信頼	•		•	
	②事業戦略	・戦略浸透、意味づけ ・事業戦略に対する満足度	•	•	•	
	③働き方	・働く時間、場所の柔軟さ ・設備、オフィス環境				•
	④上司	・上司による仕事のマネジメント・上司による人のマネジメント・上司のリーダーシップ	•	•	•	•
	⑤同僚	・同僚に対する尊敬度合い ・つながりの醸成 ・ポジティブコミュニケーション	•	•		
	⑥仕事	・仕事の負荷 ・仕事の質		•	•	•
	⑦成長機会 ⑧評価	・気づきを得る機会の有無・挑戦する機会の有無・評価制度	•	•	•	•
		①経営②事業戦略③働き方④上司⑤同僚⑥仕事	 ①経営 ②事業戦略 ③働き方 ④上司 ⑤同僚 ⑥仕事 ①が長機会 ・理念、ビジョンに対する共感度 ・経営への信頼 ・戦略浸透、意味づけ ・事業戦略に対する満足度 ・働く時間、場所の柔軟さ ・設備、オフィス環境 ・上司による仕事のマネジメント ・上司による人のマネジメント ・上司のリーダーシップ ・同僚に対する尊敬度合い ・つながりの醸成 ・ポジティブコミュニケーション ・仕事の負荷 ・仕事の質 ・気づきを得る機会の有無 ・挑戦する機会の有無 ・挑戦する機会の有無 ・挑戦する機会の有無 ・連価制度 	 ①経営 ②事業戦略 ③働き方 ・戦略浸透、意味づけ ・事業戦略に対する満足度 ・働く時間、場所の柔軟さ ・設備、オフィス環境 ・上司による仕事のマネジメント ・上司による人のマネジメント ・上司のリーダーシップ ・同僚に対する尊敬度合い ・つながりの醸成 ・ポジティブコミュニケーション ・仕事の負荷 ・仕事の質 ・気づきを得る機会の有無 ・挑戦する機会の有無 ・評価制度 	 ・理念、ビジョンに対する共感度 ・経営への信頼 ・戦略浸透、意味づけ ・事業戦略に対する満足度 ・働く時間、場所の柔軟さ ・設備、オフィス環境 ・上司による仕事のマネジメント ・上司による人のマネジメント ・上司のリーダーシップ ・同僚に対する尊敬度合い ・つながりの醸成 ・ポジティブコミュニケーション ・仕事の質 ・佐事の質 ・気づきを得る機会の有無 ・挑戦する機会の有無 ・評価制度 	 理念、ビジョンに対する共感度 経営への信頼 戦略浸透、意味づけ 事業戦略に対する満足度 働く時間、場所の柔軟さ 設備、オフィス環境 上司による仕事のマネジメント 上司による人のマネジメント 上司のリーダーシップ 同僚に対する尊敬度合い つながりの醸成 ボジティブコミュニケーション 仕事の質 気づきを得る機会の有無 挑戦する機会の有無 挑戦する機会の有無 評価制度



eNPS とは…

eNPS は「Employee Net Promoter Score」の略で、従業員のエンゲージメントを数値化する手法の一つ。 「あなたは現在の職場を親しい友人や知人にどの程度お勧めしたいと思いますか?」という質問に対して、 $0\sim10$ 点の 11 段階評価で回答。

この eNPS の値が大きいほど、従業員のエンゲージメントが高いことを示す。

※eNPS は、ペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標。

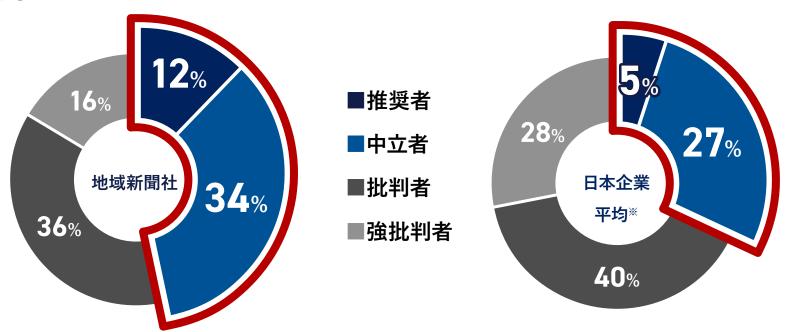




エンゲージメントスコア 2024年11月18日現在

平均よりも 23pt 高い結果となりましたが、当社の目指す数値と実現のためのアクションプランを策定して、エンゲージメントスコアを KPI として設定します

■eNPS



07 企業価値(時価総額)向上に 向けた取り組み ①個人版バリュー投資家 ②個人版グロース投資家 Strategic Plan X



訴求したい投資家







FP スタイル様主催 個人投資家向け IR セミナーの様子



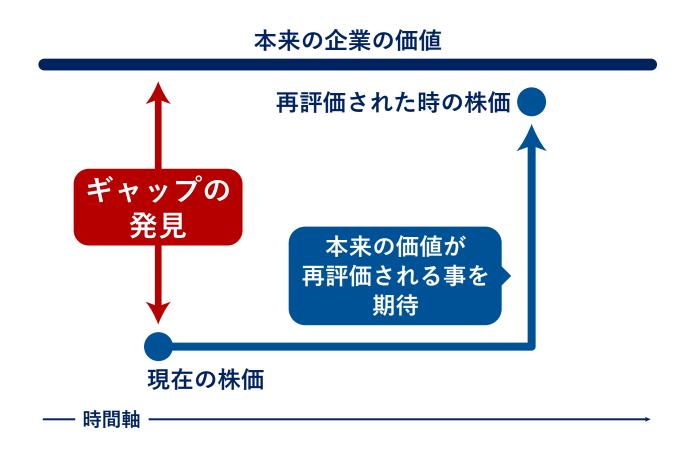


07 企業価値(時価総額)向上に 向けた取り組み ①個人版バリュー投資家 ②個人版グロース投資家

Strategic Plan X



バリュー投資家





07

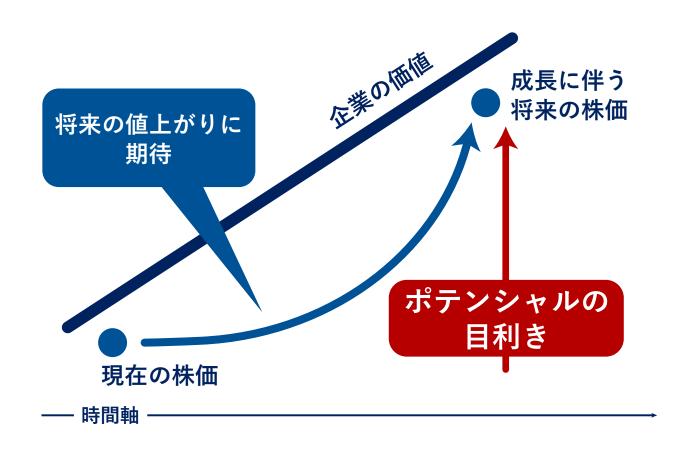
企業価値(時価総額)向上に向けた取り組み

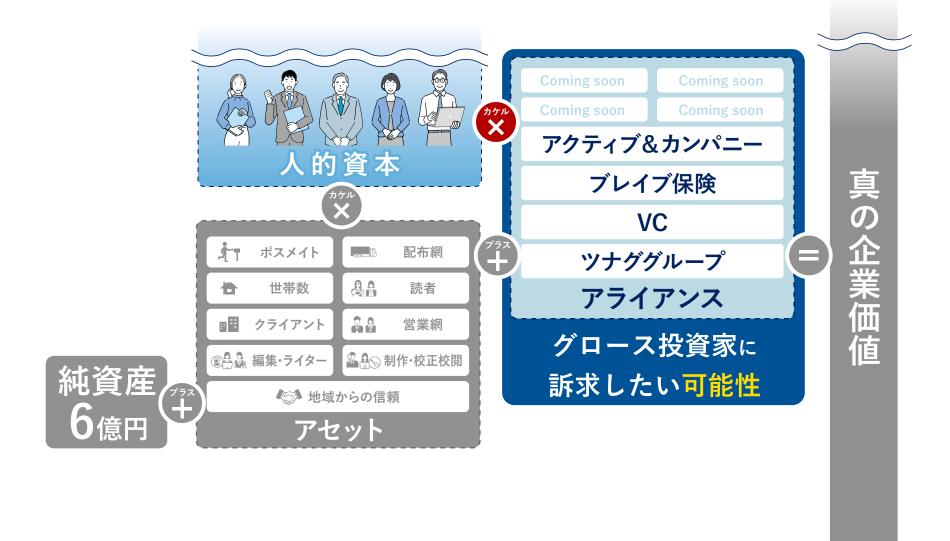
- ①個人版バリュー投資家
- ②個人版グロース投資家

Strategic Plan X



グロース投資家

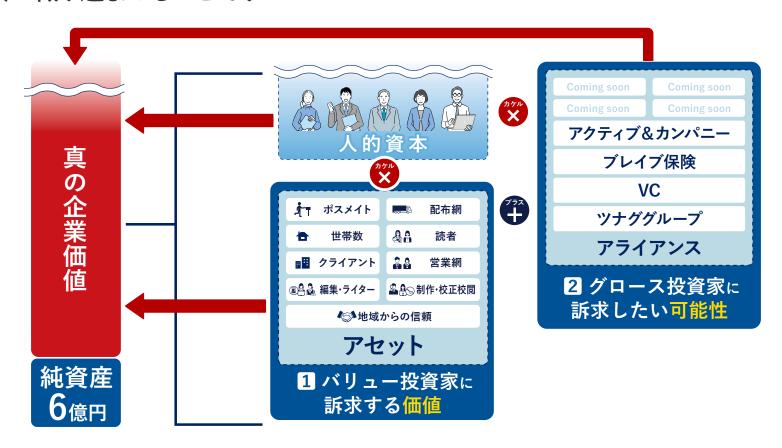






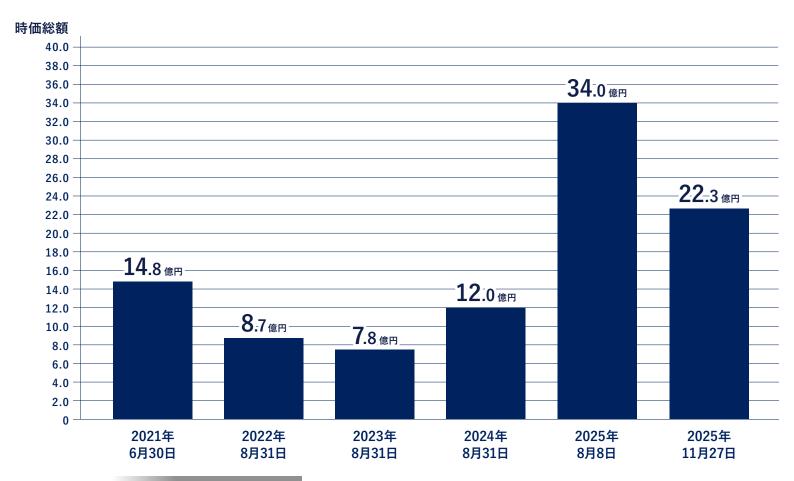
BackCasting アプローチ

アセットやアライアンス(**112**)を訴求することで現在の株価に 反映・織り込ませることです





時価総額の推移







ブルーオーシャン市場の希求



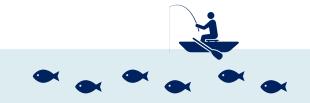
レッドオーシャン

(競争戦略)

競争相手が多い



- ・競合排除
- ・低価格、高付加価値



ブルーオーシャン

競争相手が少ない



- ・新たなマーケットを見つける
- ・マーケットを創造する



付加価値型新モデルの圧倒的な強み

・差別化(V) ・希少性(R) ・模倣困難性(I) ・組織(O)







M. ポーター教授の「競争戦略」※レッドオーシャンでの戦い方

排除 (大企業による低価格 or 高付加価値競争)→独占市場指向型

レッド ・ ピンク ・ ブルー

シェアを独占するのに体力が必要。大きなリソースがある企業のみとれる戦略



W.C. キム教授の「ブルーオーシャン戦略」

発見・創造 (参入障壁が低いケース)→先行者利益型

ブルー 🔷 ピンク 🗪 レッド

競争優位性が持続しないため、大企業による駆逐が起こる



W.C. キム教授の「ブルーオーシャン戦略」

発見・創造 (参入障壁が高いケース)→当社のアセット活用型アライアンス戦略

ブルー ブルー ブルー

希少性、模倣困難性→競争優位性の維持・担保



9つ全て揃っていることによる 参入障壁の確立





配布網



制作・校正校閲

創業 41 年



編集・ライター



2007年上場 (八千代市で唯一)







世帯数

読者



アセットの 希少性

> 競争 優位性





模倣



営業網



当社アセットの提供を通じた新サービスの創出 非連続な拡大に向けて

他社の強みと当社の強みを掛け合わせ、お互いにサービスを補完することで、1+1 が 2 ではなく 3 にも 4 にも、あるいは α や β のような全く別の化学反応的新価値を創造し得ると考えています。

















新しいマーケットの創造 (ブルーオーシャンマーケット)

Searching for

Searching for

Searching for

Searching for

Searching for Searching for

Searching for

Searching for

Searching for

Searching for

Searching for

Searching for











実現化に向けたアドバイザリーボード構想

企業価値向上戦略を絵空事にせずにハイレベルで確実に実行するため、 各分野の著名なスペシャリストによるアドバイザリーボードの組成を構想。



生成 AI の 研究開発 (産学連携)



戦哈 ディスクロージャー (投資家エンゲージメント)



社員 エンゲージメント (CHRO 機能)





マーケティング (戦略コンサルティング)



プライベート エクイティファンド (Board3.0)



企業価値向上







アドバイザリーボードの参画

■ コーポレートガバナンス&クライシスマネジメント

白井 邦芳 さん

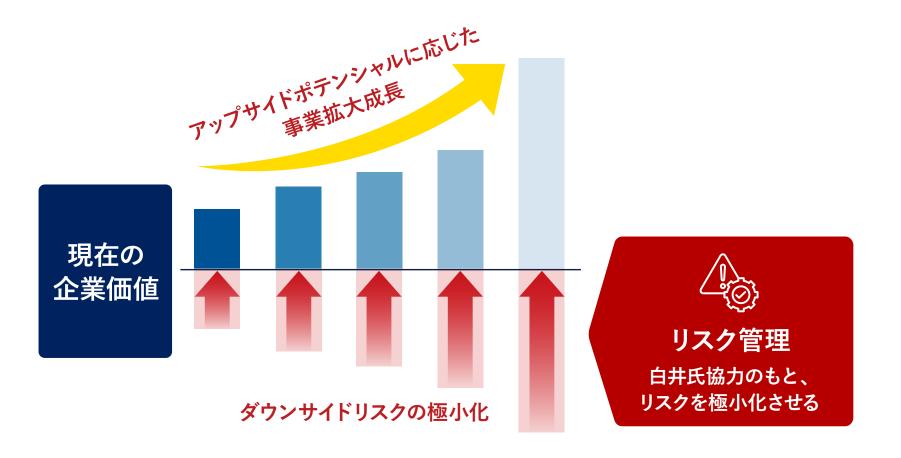
早稲田大学教育学部卒。AIU 保険会社 (現 AIG 損害保険株式会社) に入社し、 危機管理コンサルティングの第一人者とし て活躍後、2017年にゼウス・コンサルティ ング株式会社代表取締役社長兼 CEO に 就任。

「リスクの神様」(2015 フジテレビ)は、 同氏がコンサルタントとして実際に解決や 指導した事件・事故をドラマ化したもの で、原案提供及び監修を担当しました。





新戦略の中心となる「新しいマーケットの創造」や「多種多様な業種・業態とのアライアンス」に潜む様々なリスクを事前に想定し、ダウンサイドリスクを極小化してまいります。





社内における重大なリスクにおいては優先事項と位置付け、 重大リスクの管理方法を精緻に設定し、PDCA を回す体制を構築します。

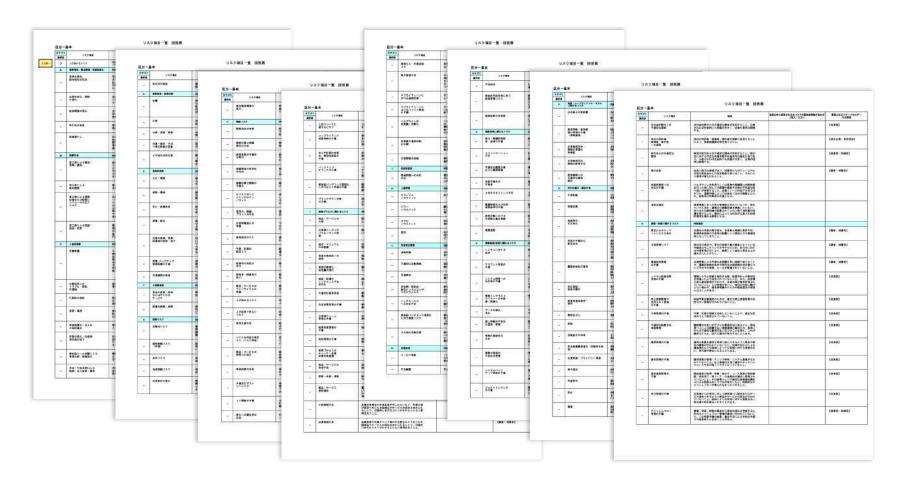
■リスク対応の流れ

優先事項1	リスクの削除と追加	済	
優先事項 2	各リスクの定義の修正	済	
優先事項3	リスク評価者選定	済	
優先事項 4	リスク基準の決定	済	
優先事項 5	リスクの評価	済	
優先事項 6	重大リスクの選定	済	undata
優先事項7	重大リスクの管理方法の決定	進行中	update



優先事項 重大リスクの選定

全 200 項目以上のリスク一覧を改めて1つ1つ検証しました。





優先事項 6

重大リスクの選定 PDCA を回してリスクを軽減していく。



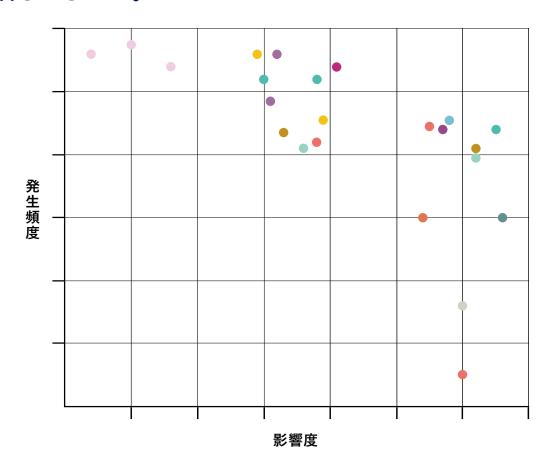
影響度



優先事項 6

重大リスクの選定

上位 23 項目をピックアップして、対応策や管理方法の策定に 着手しました。





アドバイザリーボードの白井氏研修一覧

白井氏の知見を借りてリスク極小化の対策を講じる項目は以下の通りです。

リスク概要	主要なリスク	影響度頻度		対応策	
役員への訴訟など	新戦略の中心であるアライアンスに よってステークホルダーが増えること によりリスクが高まる可能性があります	大	中	行動指針及び行動規範の周知と定着や モニタリングの実施、リテラシー向上 を目的とした研修を実施いたします	
差別や人権	新戦略の中心であるアライアンスの一環でインバウンド事業も視野に入れていることからリスクが高まる可能性があります	中	中	人権宣言の策定と人権や雇用差別など に関する研修を実施し、リテラシーを 向上させていきます	
風説の流布	投資家向けの発信が増える中で意図 せずに虚偽の情報を流してしまうリス クが懸念されます	中	中	ソーシャルメディアに関する規程の整備 と全従業員を対象にした研修を実施い たします	
変化への順応	外部環境の変化のスピードに対応しき れずに他社に新しいマーケットを創造 されてしまうリスクがあります	大	小	変化への順応性向上を目的に、サクセッションプランの一環としての研修を 実施いたします	

※その他のリスクは、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください

リスク対策

買収防衛策の導入

成長戦略「Strategic Plan」を確実に遂行していく上で、これを支える重要な手段の一つとして買収防衛策を導入し、企業価値及び株主共同の利益を守る体制を強化。

不当な潜脱行為への断固たる対応

大量保有報告制度の潜脱や、いわゆるウルフパック 戦術等により、当社の買収対応方針を回避しようとす る不当な株式取得行為に対しては、一切屈することな く、透明性と公正性を重視した企業運営を堅持する。



私とあなたの真ん中に



お問い合わせ先

株式会社 地域新聞社 コーポレートコミュニケーション室

TEL:047-485-1107 Mail: c.c@chiikinews.co.jp



本資料は当社に関してご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としておりません。また、本資料に含まれる将来の見通しや戦略に関する部分は、現時点で入手可能な情報や進捗に基づき判断したものであり、不確定な要素を多分に含んでおります。実際の業績や連携等は、さまざまな要因の変化等により、現時点での見通しから変更になる場合がありますことをご了承ください。本資料に記載されたデータには、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した公開情報の引用が含まれておりますが、当社がその内容の正確性・確実性を保証するものではありません。